

誓 約 書

名古屋大学総長殿

私は、名古屋大学（以下、「本学」）の標記海外派遣プログラム（以下、「プログラム」）に参加するにあたり、下記の事項を遵守することを、保証人（保護者）連署の上、誓約いたします。なお、誓約事項に反した場合は、派遣の資格や奨学金・助成を含む貴学の支援を取り消されても異議を申し立てません。

プログラム名 _____

派遣期間 _____年____月____日 より _____年____月____日 まで

本人署名 _____ 印 学籍番号： _____

本人所属 _____ 学部・研究科 _____ 学科 _____ 年

保証人氏名 _____ 印（続柄： _____） 電話 _____

保証人連絡先 〒 _____

緊急連絡先 名前 _____ 電話 _____

記

【誓約事項】 1～14

1. 本学の学生としての本分をわきまえ、研修に専念し、本人の自覚と責任において行動することを原則とすること。また、本学の名誉を傷つける行動をとらないこと。
2. 出発前のオリエンテーション、授業等がある場合には、出席すること。やむを得ない事情により出席できない場合には、必ず海外留学室に事前連絡の上、指示に従うこと。
3. 派遣先機関の諸事情の他、派遣先機関が所在する国・地域の情勢によっては、本学がプログラムの中止や帰国勧告を決定することがあるので、これらの事態等が生じることを理解し、本学の指示に速やかに応じること。
4. プログラム参加に際して、日本出国から帰国まで途切れなく有効な海外旅行（留学）保険に加入すること。
5. 海外派遣に必要な手続き（ビザの取得、派遣費用の支払い等）は、本人が自らの責任で行うこと。
6. 派遣前に、必ず名古屋大学海外渡航データベース（<https://intl.ecis.nagoya-u.ac.jp/tokou/iregist.php>）へ入力し、所属学部または所属研究科の定める規則に従って海外渡航届の提出を行うこと。
7. 滞在国の法令、派遣先機関の学則及び本学の諸規則を順守するとともに、本学及び派遣先機関の教員、担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないよう注意すること。
8. 求められる集団行動をとり、他の参加者、本学教職員、派遣先機関、ホストファミリー等に迷惑をかけるような行動は慎むこと。派遣期間中、危険と思われる場所、及び風紀上好ましくない場所には、一切立ち入らないこと。
9. 万が一、派遣期間中に、不測の事故や病気等の事情が発生した場合には、本学並びに派遣先機関に速やかに連絡をするとともに、本学並びに派遣先機関が健康維持、安全のための処置を決定した場合には、その実施に協力すること。
10. 本学や派遣先機関の指導・管理が及ばない個人的な行動に起因する事故、疾病及びそれに伴う損害が発生した場合には、本人と保証人の責任とすること。その他、本学や派遣先機関の指導・管理が及ばない偶発的な事故、災害、暴動、テロ、疾病、犯罪などによる損害についても、本学や派遣先機関が責任を負わないことを了承すること。
11. 本学より指示のある場合には、本学派遣プログラム担当部署への現地到着報告、帰国報告等の報告を行うこと。
12. 本学のプログラム申請時および派遣期間中に本学へ届け出た本人の個人情報は、本学、派遣先機関、関係省庁、在外公館および本学が指定する危機対処支援サービスを提供する会社が事故時の対応、学生及び保証人との連絡、本プログラム運営のために利用、共有する可能性があることを了承すること。
13. 本学は、今回提出された個人情報を利用して、本学が主催するプログラム説明会へ体験者としての出席依頼などの連絡をする場合があることを了承すること。また、プログラム中に撮影された写真を、本学が、学内行事における広報のため使用することを承諾すること。
14. その他、必要に応じ本学が別途定める事項を守ること。

以上

緊急治療承諾書

年 月 日

名古屋大学総長 殿

私は、(学生氏名) _____ (学籍番号: _____) の保護者(親・後見人)として、上記の者に怪我や病気が起こった場合、もし現地医療機関により必要と判断されるならば、第三国の医療機関への搬送ならびに麻酔と手術及び輸血を伴ういかなる治療も行うことを、現地に動向する引率者または関係者の方に委任します。

※ ごくまれに、研修期間中に入院や手術を必要とする緊急事態になる場合があります。原則としては、学生は保護者の書面による承諾がないと、麻酔や手術を行うことができないので、保護者が以上の事項に署名することをお願いする次第です。これは、緊急事態が起これ、保護者に連絡が取れない場合に、危険な遅れを防ぐためです。

保護者署名 _____ 印 (続柄: _____)